



阿多古川 (天竜区) MAP 9

水の郷百選とは、水環境の保持・保全に努め、水を活用したまちづくりに優れた成果を上げている地域を国土庁(現 国土交通省)が認定する制度。平成8年、天竜美林や雄大な天竜川、清流阿多古川などの豊かな自然が評価され、浜松市天竜区(旧天竜市)が認定された。地域を流れる河川は生活用水や工業・農業用水などに利用され、春から秋にかけては溪流釣りや川遊び、キャンプなどで賑わいを見せる。水質保全や環境整備のために、地域住民が主体となって河川バトロールや夏季の駐車場整理、竹林整備などの取り組みを行っている。その成果が認められ、20年には阿多古川が「平成の名水百選」(環境省)に選定されている。

## 地域住民の誇りが、水の郷、平成の名水に

平成8年(1996) 天竜が水の郷百選に認定  
平成20年(2008) 阿多古川が平成の名水百選に選定



関連スポット 天竜区役所 浜松市天竜区二俣町二俣481 MAP 10

天竜地域は、奈良県の吉野地域、三重県の尾鷲地域とともに日本三大人工美林と称されている。



平成17年7月の合併後、浜松市では、静岡県、市内の6森林組合と協力し、グループでFSC認証を取得した。その後、認証面積は拡大し、現在、市町村別の取得面積は日本一を誇る(約45千ha)。平成31年2月末現在)、また、FSC認証材を取り扱うことができるCOC認証(製材・加工・建築業者が対象)の取得者数も70事業体を超え、浜松市は全国で最もFSCのサプライチェーンが繋がっている地域のひとつに成長した。この広大なFSC認証材や全国屈指のFSC認証材供給能力を基に、東京

平成22年(2010) 天竜林業振興協議会がFSC森林認証を取得

## 全国屈指のFSC®認証材供給体制で地域産業を活性化

春の伝統行事「浜松まつり」では、170以上の町が参加する風揚げ合戦や、80台以上の御殿屋台の引き回しが行われ、町中が熱気に包まれる。夏や秋には町内会ごとに花火大会や祭りを開催。子どもからお年寄りまで、何かと地域内外で集まることが多い。そんなところにも健康寿命日本一の所以が見えてくる。

平成22年(2010)、平成25年(2013)、平成28年(2016) 健康寿命連続日本一達成



関連スポット 浜松駅 MAP 7

浜松市が健康寿命日本一のワケとは…(一例)

- 温暖で日照時間が長いことは骨密度や免疫力を高める条件であり、鬱になりにくいとされている
- 良質の食材に恵まれている
- 有力企業が多く、経済的に安定している
- 中山間地域も含め農業が盛んで、定年がない
- 製造業が盛んで、熟練の技術を持った高齢者が働ける環境がある
- 全国から模範にされるほど医療体制が充実し整っている
- クヨクヨしない前向きな気質を持っている

参考:市情報誌 あかるい浜松vol.7

## 名だたる大都市を抑え 日本一幸せな街の称号を得る

平成30年(2018) 政令指定都市幸福度ランキングで総合1位を獲得

日本総合研究所が調査・発表する、全国20政令指定都市の幸福度ランキング。平成30年、前回1位のさいたま市を抜いて、浜松市が総合ランキング1位に輝いた。都市の基本指標に加え、仕事・生活・健康・文化・教育の5分野47指標で評価され、総合点で順位が決められる。浜松市は全国屈指の財政健全度や合計特殊出生率に加え、自治体としてのポテンシャルの高さや、古くからの製造



浜松市が幸福度日本一のワケとは…(一例)

- 財政健全度が政令市の中で最も高い
- 医師が多く合計特殊出生率が政令市の中で最も高い
- 正規雇用者比率や高齢者有業率など雇用面で優れている
- 図書館等の施設数や社会教育費など社会面で優れている
- 体育・スポーツ施設数も多く、運動・体力面で優れている
- 持ち家比率が高いなど個人・家族の暮らしが充実している
- 安定した社会基盤が形成されており健全な生活を送れる

参考:全47都道府県幸福度ランキング2018年版

関連スポット 浜松駅 MAP 8

## エネルギーの自給自足に向け、スマートシティを推進

平成25年(2013) 浜松・浜名湖太陽光発電所が運転開始  
平成26年(2014) 太陽光発電導入件数日本一  
平成27年(2015) 太陽光発電導入量日本一



浜松・浜名湖太陽光発電所 浜松市西区呉松町 MAP 11

日本のエネルギー自給率はわずか8%。全国屈指の日照時間を誇り、豊かな自然に囲まれた浜松は、自然エネルギーのポテンシャルも非常に高く、エネルギーを持続的かつ安定的に確保することを目指している。平成24年、新エネルギー推進事業本部(現エネルギー政策課)を設置。太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーの導入を推し進めた。27年には地産エネルギーの活用を行う電力会社(株)浜松新電力も設立。同年、官民連携の「浜松市スマートシティ推進協議会」も設立され、現在150を超える企業の参画を得て、スマートコミュニティの構築を目指している。これらの取り組みの結果、太陽光発電導入件数及び導入量は全国1位となり、23年度に4.3%であったエネルギー(電力)自給率は29年度13.8%に向上。エネルギー先進自治体として、浜松版スマートシティの実現を目指し、活動を強化している。